

16名のゲスト講師のお話から知った、仕事の共通点は「人を幸せにすること」 ～大田区立池上第二小学校「ドリームプロジェクト」ゲスト講師の授業レポート～

大田区立池上第二小学校では、「ドリームプロジェクト」として、6年生が将来について考えるキャリア教育プログラムを実施しています。複数回数の授業を実施するための工夫と児童の変容等について、東京都教育委員会が12月に開催した「地域学校協働活動推進フォーラム2018」で報告していただきました。

(フォーラムの報告 <http://www.syougai.metro.tokyo.jp/sesaku/net/30forum02.pdf>)

平成31年1月に、プログラムのメインとなる「ゲスト講師の授業」が実施されましたので、紹介します。

このプログラムの特徴は、子供たちが主体的に参加すること。ゲスト講師に「授業に来てほしい。」という手紙を書き、ゲスト講師が来る授業の準備、当日の講師の接待等を、全て子供たちが行います。

池上第二小学校では、今年度のプログラムを以下の内容で実施してきました。

導入	プログラムの説明、職業を調べる。
知る	家の人の仕事を知る(学校で実施している「ドリームプロジェクト」について知ってもらう。)
来てもらう	企業の方から、企業の活動について、色々な部署の紹介と、それぞれの仕事内容について聞く。
調べる	招待したい職業の人を調べる。
行動する	学校に来てほしいという手紙を書く、質問を考える。 (社会人から、ゲスト講師が可能かの返事が届く。)
準備する	班分け、当日のおもてなしを考え、役割分担を決め準備する。
来てもらう	ゲスト講師の授業 (おもてなしとヒアリング) 今回はこの時間
お礼	お礼状を作成する。
まとめ	お話を聞いた講師の仕事をもとめ、掲示物を作成し発表。他の講師の仕事を知る。
総括	卒業式の誓いの言葉で、将来の夢を発表する。

玄関に、各グループから受付を担当する児童が集まっています。先生と受付の流れを確認していると、ゲスト講師が続々と到着しました。受付をして、控室にご案内すると、児童が暖かいお茶を運びます。

下駄箱の名札、講師の名札や、控室の席案内、会場の講師名の掲示も、児童が作成しました。



会場の体育館では、学校からの挨拶と講師紹介の後に、16名の講師が会場内の所定の場所に移動しました。15分間で自己紹介と仕事説明、質疑応答を行います。違うグループを対象に説明を3回繰り返すことで、児童は希望した講師を含む3名の講師の話を聞くことができます。少人数のグループのため、講師が用意した資料を間近で見ながら話を聞き、気になることはすぐに質問。次第に講師も児童も緊張が解け、会場が賑やかになってきました。

最後に、児童が「とてもわかりやすく仕事についてお話ししていただいたことに、感謝しています。」「仕事は違って、共通することは『人を幸せにしたい。』という気持ちであることがわかりました。」と、お礼を述べました。

講師からは、「皆が真剣に相手の目を見ながら話を聞き、メモをしっかりと取っていました。仕事をする上でとても大切なことなので、これからも意識してください。」「小学生の皆さんに話すのは初めてでしたが、とても楽しい時間でした。」「自分の得意分野を伸ばす、ということも大事にしながら、多くの人と会い、色々な経験をしてください。」というメッセージが伝えられました。



ネットワーク協議会では、このプログラムを「お手紙プロジェクト」という名称で協力企業を募集し、小学校に提案しています。実施に当たっては、プログラムアドバイザー(キャリア教育コーディネーター)が、内容や回数等について教員と相談しながら進め、ワークシート等の教材を提供するなど、プログラム全般の実施を支援します。「お手紙プロジェクト」についての説明の希望や、相談がありましたら、ネットワーク協議会事務局まで、御連絡ください。

メールはこちらに [お問合せ](#)

電話 03-5320-6859 (東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課)